

2019 年度 運動会報告書

開催日：2019 年 11 月 2 日土曜日

リーダー：コッシオ 祐実、大嶋 さと子

サブリーダー：浅野 ゆきえ

- リーダーの業務

昨年より引き続き、午前の部は大嶋が、そして午後の部はコッシオが担当した。昨年の経験及び反省点を活かし、7 月より話し合いを進め、資料作成を開始した。午前の部はサブリーダーを指定せずに運営したが、準備段階及び当日も問題なく進んだので、来年からもこの体制で進める予定。

- 運動会系の業務について：

10 月 12 日（土）ミーティング

10 月 26 日（土）リハーサル

11 月 2 日（土）運動会

- 本年度は 4 月の顔合わせを無くし、ミーティングも一回のみ行った。小物作成や資料作成など早い段階から行っていたため、ミーティングから本番までの日にちが近かったが、スムーズに準備が進んだ。
- ミーティングの際に小物を作成。（午前の部運動会係）

- 悪天候の影響：

前日の強風のせいで多くの家屋が停電となり運動会参加人数の減少が心配されたが、その影響はあまり見られなかった。前日の夜に Collège 側から強風のため体育館の窓ガラスが割れたとの連絡が入ったが、当日確認してみたものの割れている箇所は見当たらなかったため、予定通り運動会開催を決定。

- ボランティア：

1. 節分係および書初め係

今年度は節分係および書初め係が運動会のボランティアとして参加。10 月 26 日のリハーサル及び運動会当日に参加。午前の部・午後の部ともに係だけでは手の回らない部分が多々あったため、ボランティアのおかげで今年はよりスムーズに運動会を進行することができた。

2. 中高等 2 及び 3 のボランティア参加

1 学期後半に中高等部 2 担当の山本智絵先生から、生徒たちを午前の部のボランティアとして参加させたいという旨の打診をいただいた。その後話し合いの中で、中高等 3 の生徒さんと共に、午後の部借り物競争のボランティアとしても参加していただくことになった。

当日は午前の部においては、生徒 2 人がアナウンスを担当、その他にはラジオ体操デモンストレーション、各競技の模範演技及び各競技後の誘導を担当。初めての経験ながら、生徒一人一人が状況を見てその都度対応できていたため、運動会運営の上でとても重要な役割を果たしていた。

午後の部においては、借り物競争で低学年の生徒のサポートをもらった。低学年の生徒たちも大きなお兄さんお姉さんと触れ合えるとてもいい機会になったのではないかと思う。日本語センターにおいて、今回のように世代を超えて触れ合う機会はあまりないので、今後も続けていけたら良いのではないかと思う。

- 進行具合について：

- 午前の部：最初の玉入れのデモンストレーションを説明する際に手間取り少し時間がかかってしまったが、その後は係の者も自分の持ち場に慣れ最後まで問題なく進行することができた。親子競技は新しい競技を導入したが、混乱もなくスムーズに競技が進んだ。競技前の誘導係（3 人）及び競技後の誘導係（中高等部 2 の生徒）を配置したため、競技前後の誘導が滞りなく行われ、午前の部全体の進行がスムーズにいった。午前の部終了予定時刻は 11 時半であったが、11 時 15 分頃には終了していたところを見ると、来年度からは幼児 1 の親子競技参加も検討してみたい。
- 午後の部：昨年度大幅に終了時間がおしてしまったため、本年度は時間内に閉会式まで進めるという大きな課題があったが、時間通りに全ての競技を終了させることができ、けが人も出ず無事に終了した。その要因としては、開会式後からすべての競技を通し、誘導がスムーズに進んだことである。予め教員・アシスタントへ待機図を配布しておき、教員の協力もあり予想以上に簡潔化できた。そして本年度は新競技、かりもの競争の進行具合が不安ではあったが、中高等生徒の協力がとても大きく、初めてにしては大成功だった。クラス別待機席で観戦しているだけの時間を減らしたことにより、生徒たちが常に動いている状態を作り、次の行動に移りやすくなったことも成功だった。

- 各競技について：

午前の部：

- 1) 玉入れ競技：全ての学年の競技で籠の高さを一番低くしたため、比較的たくさん球が入った。
- 2) 親子競技：今年度はプールで使用するスパゲッティを使用した競技に変更。競技内容が簡単で分かりやすかったため、初めて行う競技であったにもかかわらず混乱はなかった。来年は幼児 1 の生徒の参加も考慮したい。

- 3) おせんべい競争：本年度より、競技中に使用するせんべいは紙で作ったサンプルを使うことにした。昨年までは競技に使用したせんべいをレース後に景品として使用したが、割れてしまったものが多かったので、今年より改善した。

午後の部：

- 1) 玉入れ競技：赤組の当日欠席者が多くなり、第3組目において、人数調整ができないまま対戦が進み不公平な結果となってしまった。
- 2) 借り物競争：父兄も競技に参加して、とても盛り上がった。来年もぜひ行いたい競技。（借り物の最終チェックはゴール後に行ったほうがいいのではないかと？ 借り物を見つけた時点でゴールへ向かう生徒が多々見られたのと、ゴール前に運動会係が沢山立っていて生徒たちの邪魔になっていた。）
- 3) 障害物競走：ゴール地点が曖昧で、どこまで走ったらいいのか分かっていない生徒が多々見られた。来年からは三角コーンを使用するなどして最後のコーナーとゴール地点を明確にするべきである。
- 4) 大縄跳び：今年から参加学年を少なくし、競技時間も2分間（縄が止まっても、タイマーを止めない）とした。その為競技がスムーズに運び観客も最後まで楽しんでみていたように思える。
- 5) 綱引き：昨年同様大変盛り上がった。特に父兄の対戦は大いに盛り上がったので今年同様2回戦行うといいのではないかとと思う。

- 在モンリオール日本国総領事館からのトロフィー贈呈：

本年度は、在モンリオール日本国総領事館の取り計らいでトロフィーを贈呈していただいた。午前の部、午後の部とも勝利した組の代表がトロフィーを受け取った。また当日、伊澤総領事、及び八島領事が来賓としてみられ、玉入れや綱引きに参加していただいたり、大縄跳びの際には縄を回していただいたりと、運動会に大いに参加していただけた事を、とても光栄に思う。

- 来年度に向けての提案：

- 担当教員達と話し合い、幼児1の親子競技への参加を検討したい。
- 中高等部2及び3のボランティア参加を来年もお願いしたい。

- 最後に：

今年度は在モンリオール日本国総領事館より、トロフィーの贈呈をしていただきました。また、午後の部景品としておやつも提供していただきました。

今年度もエンジェルシーフードさんに景品のポッキーを提供していただきました。

役員の方々および音響の方々には準備段階からとてもお世話になり、当日も素晴らしいお仕事をいただきました。

運動会係およびボランティアの皆さんの仕事ぶりも、素晴らしいものがありました。

皆様のお力添えあってこそ、この運動会が成り立ち、そして成功を収めることができました。

心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

2019年11月4日

午後の部リーダー：コッソオ祐実

午前の部リーダー：大嶋さとこ